



みささ 議会だより

第96号 平成26(2014)年 7月号

主な内容…6月定例会・一般質問・常任委員会、議会報告会

ナイスショット！

ふるさと健康むら竣工記念グラウンドゴルフ大会が7月1日に開催され、参加者は新しくなった健康むらのグラウンドでおもいきりグラウンドゴルフを楽しみました。

各地域協議会で議会報告

住民の方から頂いたご意見の一部を紹介しています。

議会運営関係について

●議会のTV放送

- 真剣な態度で臨んでもらいたい。(三徳地域協議会)
(議会の対応等) ご意見を尊重したいと思います。

●常任委員会の放映

- 議会常任委員会の会合を放映してはどうか。(みささ村地域協議会)
(議会の対応等) 費用の面を含め今後協議したいと思います。

●議員定数

- 現在の12名はギリギリだと思う。減らせという声もよく聞か、この数でいくべきでは。(高勢地域協議会)
(議会の対応等) 今後協議していきます。



観光関係問題について

●ブランナール・ふるさと健康むらについて

- ブランナールの経営について、まず、単年度黒字を目指す方法を考えるべきでは。(高勢地域協議会)
- 13億もの借金、利払いだけでも大きいのでは。(竹田地域協議会)
- ふるさと健康むら・ブランナールは民間なら倒産。キズが大きくなならないうちに整理してはどうか。(三徳地域協議会)
(議会の対応等) 議会と執行部で鋭意検討しています。

●三朝町は観光でいきていくしかないと思うが

- 集客活動等どう考えているか。どうやったら全体がうるおうか、戦略を考えていってもらいたい。(三徳地域協議会)
(議会の対応等) 今年、来年と三朝温泉開湯850年祭を開催し努力されていますので、議会として見守っていきます。

●観光について

- 三朝温泉観光協会はあるが、三朝町観光協会・中山間地観光協会はない。こういった組織をつくり全体的活性化を図れないか。(三徳地域協議会)
(議会の対応等) 現在、観光協会と地域協議会が連携されています。さらに連携をとられるよう議会としても働きかけていきます。

執行部への要望等

●補助事業の一覧

- 支援事業とか補助事業があり非常に分かりにくい。一覧表でもないか。(賀茂地域協議会)
(議会の対応等) 持ち帰って協議をしたいと思っています。又、意見要望等がありましたら、承って帰りたいと思います。

●農道舗装

- 農道舗装のための補助は出せないのか。(高勢地域協議会)
(議会の対応等) 持ち帰り検討します。

●事業の情報提供

- このたび区長会があり、新年度から始まる事業で議会が終わってから聞いても手遅れの時がある。早めに情報提供はできないか。(賀茂地域協議会)
(議会の対応等) 2月ごろに議会のほうに了解を取って進めさせてくれという事で了解をしている。執行部の伝達が悪いのでは。持ち帰って検討します。



会を開催、110人が参加

。(太字は議会の対応等)

地域問題等について

●買い物場所の確保

○Aコープが5月末で廃止になり買い物難民ができる。町から買い物ができるところを考えてもらいたい。(小鹿地域協議会)(賀茂地域協議会)

(議会の対応等) 執行部と地域協議会が要望書を提出されています。

●中山間地活性化について

○中山間地の活性化をもう少し考えられないか。(三徳地域協議会)(議会の対応等) 地域協議会を中心に活性化について協議をお願いします。

●過疎化について

○東保育園からこども園にかわり、過疎に拍車がかかるのでは。(三徳地域協議会)

(議会の対応等) 今後は、「小学校の統合」を含め過疎対策の提案について、住民の皆さんや、保護者の皆さんと協議が進んでいくものと思われます。議会も、地域の皆さんのご意見を十分に考慮しながら、協議を重ねていきたいと考えています。

●地域協議会関係

○地域協議会の担当が教育委員会に移ったが対応が不安。(高勢地域協議会)

(議会の対応等) 社会・生涯教育充実のためと執行部は言っているが、十分なサービスができるか、しっかり監視していきます。

●鳥獣被害対策

○要望で今年はいノシシが多く、日野では連携して対策をしているが、抜本的な対策をしないといけない。(賀茂地域協議会)(議会の対応等) 国や県とともに協議していきます。

●高齢者のための交通費助成

○高齢者のための交通費助成について、公共交通機関の確保はできているのか。6～8人乗りの車で回転していくという方式はとれないか。(高勢地域協議会)

(議会の対応等) 議会として提案しています。

開催日時	開催場所	参加人数
4月 7日(月)19時	みささ村公民館	13人
4月11日(金)19時	バンビセンター	18人
4月11日(金)19時	竹田地区公民館	22人
4月13日(日)13時30分	高勢地区公民館	22人
4月15日(火)19時	三徳センター	14人
4月21日(月)19時	本泉交流センター	21人



世界遺産登録運動について

●世界遺産登録運動について

○執行部はこれからも推進していくつもりなのか。(賀茂地域協議会)(議会の対応等) 執行部はこれからも推進する方針です。

住民の安心安全について

●避難情報の通報

○ケイタイに避難情報を通報するシステムを構築してはどうか。(みささ村地域協議会)(議会の対応等) 鳥取県のサービス「安心トリピーメール」で対応しています。

その他の事項

●予算書の掲載

○予算書をホームページに掲載してはどうか。(みささ村地域協議会)(議会の対応等) 担当課へ伝え検討してもらうよう要望します。また図書館で閲覧可能です。

議会だより編集等について

●文書の書き方・資料の表現について

○文書の書き方についても、数字は万を使ったり千を使ったりで非常に見難いので統一をしてほしい。
○資料で総務と産民を比較した場合、産民は数字等細かいことが書かれていて動きがわかりやすい。フォームが三者三様なので統一したほうがいい。(賀茂地域協議会)

(議会の対応等) 資料の表現については反省しております。今後注意したいと思います。

常任委員会で 慎重審議

委員会における主な質疑

産業民生常任委員会

企画観光課

○婚活イベント開催事業 (60万円)

(委員) 主催は実行委員会方式なのか三朝町なのか。

(回答) 三朝町主催で、新たに縁結び定住局が出来ましたので、企画観光課担当局が事業実施を行います。

○温泉ライダー開催事業費 (331万6,000円)

(委員) 説明資料では、町が主催で町のみが予算支出を行い、県は声掛けを行うように見えるが、総予算は。

(回答) 主催者ウイズスポと事業委託を行う県との契約が行われていないため未定ですが、予定では1千万近い事業委託を行うと聞いている。

(委員) 今後、県と町の負担割合について報告願いたい。

農林課

○多面的機能支払交付金事業 (681万9,000円)

(委員) 「農地維持支払（新規）」について、延べいくらになるのか。

(回答) 協定面積は、35集落で404ha、集落に対する支払は1,200万円になります。

(委員) 同じく「長寿命化」についてはどうか。

(回答) 面積は328ha、支払額は1,400万円程度です。

○がんばる地域プラン事業 (60万円)

(委員) 新規事業の「がんばる地域プラン事業」は県の事業か。

(回答) 従来からある県事業で、本町では取り組んでいませんでした。これと同じやり方の事業で「がんばる農家プラン事業」には、2、3件取り組んでおります。

(委員) 新規就農者についてはどのような形で募集する考えか。

(回答) 地域おこし協力隊、都会での募集、県が行っています農の雇用といった事業もあります。

(委員) 三朝神倉大豆について「事業化していく」と言う事を言われたが、具体的には。

(回答) 推進事業はプランの中で検討するが、施設については大豆と米の両方で課題の、汎用型の施設整備をするイメージを持っています。

建設水道課

○町営住宅耐震改修事業 (89万5,000円)

(委員) 徳本3戸1棟を新規に追加だが、耐震診断総数は。

(回答) 25戸であったものが28戸となりました。

(委員) 耐震診断した結果「不適切だ」と言われたら建替えするのか、改築するのか。

(回答) 建替えにつきましては、困難だと思っています。

(委員) 診断が「不適切」であって、地震に耐えないという話になれば、改築なり、耐震補強なりは「する」ということでしょうか。

(回答) 部分的に、修繕とか、柱を太くとか、出来る範囲の補強をしていく方向になると思います。

ブランナールみささ

○国民宿舎事業会計補正予算

(委員) 新たに職員を2名採用するが、一般会計から390万円の出資で2名雇えるか。

(回答) 390万円は1名分です。補正額468万6,000円というのは、2名採用といっても嘱託職員1名分の賃金を減額しており、あわせて468万6,000円と言うことです。

(委員) 嘱託職員としての採用か？

(回答) 嘱託職員が応募されて任期付職員になる場合もあり、新たに2名採用して嘱託職員1名辞めて頂くことも可能性としてありますが、総数としては1名増です。

(委員) 予算が通れば募集予定ですか。

(回答) 予定として7月20日位まで公募して、8月1日から採用できればと思います。

総務教育常任委員会

危機管理課

○防災行政無線デジタル化

(委員) デジタル防災無線の集落放送について、設備の集落負担は？

(回答) 除雪機の集落貸付と同じく、今回の事業は70%が交付税で還ってくる事業であるので、町負担部分を全額集落負担してもらうという案です。

(委員) 防災無線だから町が1/2負担するべきだと考えるがどうか？

(回答) 除雪機械の例をもとに、案を示しているもので、希望する集落もあればしない集落もあります。

(委員) 設備の修理についてはどうなるのか？

(回答) 集落負担を予定しています。

(委員) 生活弱者の方への対応は？

(回答) 1万円給付事業（臨時福祉給付金）が始まるが、生活保護を受けている人は給付対象外となっている。住民税の課税状況によって判定されている。このことから生活弱者への負担軽減には住民税の課税状況で判断するのが適当と考えています。

(委員) 集落の中でやらないといった人があればどうするのか？

(回答) あくまでも集落の負担でするので、集落の中で考えていただきたい。

(委員) 70戸なら1件当たり1万円、10戸だと2万円。これが公平という考え方か？

(回答) 負担の平準化は難しい問題。一戸当たり2万円は、平成21年度に整備された集落の平均であり、1回で使う金額と考えていない。

財務課

○永楽庵跡地の取得

(委員) 永楽庵跡地用地取得に関して、地域の方が情報が無いと言われていた。なるべく近隣の方に情報を与えてほしい。

(回答) 企画観光課とも話をしながら進めていきたいと思っています。

(委員) 永楽庵跡地用地取得費用は当初予定していた金額と取得した金額は、どうだったか？

(回答) 当初、予定していた金額よりは安く

なった。

子育て健康課

○国民健康保険税条例の一部改正

(委員) 国民健康保険税率を改定したら、あとどれぐらい維持できるか。

(回答) 国保の都道府県単位化が予定されている平成29年度ぐらいまでは可能という見込を立てています。

(委員) ジェネリック医薬品の利用について、もっと積極的にPRすべきではないか。

(回答) 差額通知を年2回行っています。引き続き広報等を行います。

○溶連菌の対応

(委員) 溶連菌について、昨年と今年で保育園の対応が違う。感染拡大防止のため、対応の統一が必要ではないか。

(回答) 昨年と今年で制度の変更はありません。医師の診察時の子どもさんの状況によって対応が変わってくるものと思います。

社会教育課

○名勝及び史跡三徳山整備事業 89万6,000円

(委員) 正善院の補助金だが3月議会の際には、100万円だった。今度は80万円になった。

(回答) 3月の議会の際には、正善院で基本設計を作っていたらしゃる段階で、概算で提案させていただきました。基本設計の契約は3月末で満了ということで、満了時点で基本設計、基本計画が完成し、それに基づいて、もう一度数字を精査したということです。今回、実施設計において、宗教儀式を行う部分がどれくらいになるのかということが明らかになりましたので、今回このように詳しく出ささせていただきました。

中央要請活動を実施

山田議長以下10名の町議会議員団は、5月29日・30日にかけて吉田町長、担当課長4名の執行部と中央省庁への要請活動を実施した。

29日午前は、自由民主党幹事長石破代議士、赤沢代議士、舞立参議院議員に対して表敬と町行政への各種要請を行い、次に国土交通省大野砂防部長に砂防事業に関する要請を行った。昼食時は舞立参議院議員が同席され、色々意見交換ができた。

午後は、環境省自然環境局星野局長、国立公園課島居課長に三徳山の国立公園編入のお礼並びに関連施設の整備を要請、続いて文部科学省で原子力研究開発局田中局長、益子原子力課長に対して交付金継続の要請並びにキュリー祭への招請を行った。最後に文化庁において青木調査官に三徳山関係の補助に対するお礼と文化財保護の継続的補助を要請した。

30日は、林野庁において沼田長官、宮原次長、牧元林政部長、本郷森林整備部長に対して林道整備事業の継続を要請、続いて日本原子力研究開発機構において松浦理事長以下の役職者に対する表敬並びにキュリー祭への招請を行った。

教育行政

問 町はスポーツイベントをどのように捉えているのか

図書館にDVDを取り入れてはどうか
土曜授業を、どのように考え、対応していくつもりか

答 人格形成、体力向上、健康長寿の礎と考えている

町民のニーズに応えるため、収集に向けて検討していきたい

開かれた学校づくりを推進する観点から実施すべきと考えている



池田雅俊議員

池田

各スポーツイベントがもたらす活気というものは、今の三朝町にとって重要なものと考えているが。

教育長

スポーツは世界の人々に大きな感動や楽しみ、活力をもたらすもので、人格の形成、体力の向上、健康長寿の礎であると考えている。さらに地域の活性化や経済的効果など明るく、豊かで活力に満ちた社会を形成する上で欠かすことのできない存在であると思う。

池田

スポーツイベントに係る、使用料、電気代等を無料にしてさらなる町の活性化につなげていく考えはないか。

教育長

受益者負担について議論をした中で、最低限の料金を頂く、ということになった。無料化については、ここでは断言できないが、どのような体制がいいのか検討したい。

池田

昔の町民運動会のような多くの町民が盛り上がるようなイベントを考えてみてはどうか。

教育長

町民運動会については、第10次三朝町総合計画の施策目標として平成27年度の開催を掲げている。地域協議会とも協力しあい、開催に向けて努力したい。

池田

三朝町の図書館の蔵書についてはほぼ満足のいくものであると思うが、特に、自然科学、地理学といった分野において、DVDを取り入れてはどうだろうか。

教育長

映像資料を貸し出すための頒布権を取得するために多額の補償金が必要で、商品も高額であるため、開館以来これまで購入を控えていた。しかし、DVDは効果的な教材資料であり、貴重な映像資産の保存、次世代への継承手段であり、高齢者や障がいのある方のための有効なサービス提供手段でもある。このため、多様化・高度化する町

民のニーズに応えるため、収集に向けて検討していきたい。

池田

土曜授業について、中学校に習熟度別授業を展開するクラスを設け、生徒の学力向上につなげていくべきだ考えるが。また、講師については、退職された元教員の方にボランティアをお願いするという手もあると思うが。

教育長

土曜授業については、学校週5日制の趣旨を踏まえた上で、保護者や地域住民に開かれた学校づくりを一層推進する観点から実施されるべきものと認識している。本町においては体験学習を取り入れた土曜授業のありかたを検討したい。また、地域の人材活用を含め、子ども達が、意欲を持ち、互いに切磋琢磨しながら授業を行っていくような方法について検討したい。

福祉

問 高齢者の福祉の充実を図るべき

答 関係機関と連携をとりながら検討を進めていく

福田

町内の高齢者の福祉の充実について質問をします。平成26年度予算に、要支援や要介護と認定され、公共交通機関の利用が困難な方に交通費の一部を助成しています。しかし町内には、要支援や要介護者以外で車を運転しない、また運転免許を返された高齢者の方々も増えています。

そこで、例えば中の谷を対象とした新たな高齢者サービスはどうでしょうか。各公民館を拠点として温泉病院までのルートの往復で、10人乗りのワゴン車（町が購入）を外部委託して、1時間に1本程度運行させるというサービスです。

町長

我が町は、人口が7,000人を割り込む中で、65歳以上の方は、今年3月末で2,398人で、高齢化率は34.56%と3人に1人が高齢者であります。今年度から始めた高齢者交通助成事業は、要介護認定を受けられた高齢者の方々を対象として、住み慣れた地域で安心して暮らしていただき、自立や充実した生活の支援策の一つであります。

たしかに、要介護認定を受けておられない方の中には、自家用車車両等が利用できないため、バスを利用しておられますが、バス停までが1 km以上も離れていたり、運行も1日に数本しか



福田茂樹議員

ないために、通院や買い物等の日常生活の中で非常に不便を感じておられます。

様々な取組を行っている自治体もありますので、その実施状況や運用上の課題等を参考にしながら、あわせて実際に利用される町民の方のご意見もうかがって、関係機関と連携をとりながら検討を進めてまいりたい。

財政

問 財政健全化はしっかり行われているか

答 町民の皆様にご協力をいただきながら財政の健全化に努めている

福田

三朝町の財政健全化について質問をします。三朝町は、市町村合併の議論を経て、最終的に単独での町政を選択。その結果、自主自立に向けた変革のための行動計画を策定しました。その後、三朝町が過疎地域指定を受けて、新たな起債、いわゆる過疎対策事業債という三朝町にとって有利な借金ができるようになりました。平成26年度まで総額11億6,130万円になっています。

過疎債は打ち出の小づちではないと考えます。今後の三朝町の財政健全化についての考え、

また、過疎債についての考え方を伺うものであります。

町長

本町は、単独での町政を選択し、自主自立に向け、この町を次の世代に確実に引き継ぐため、定員・定数の削減や既存事業の見直しなどの行財政改革や、自主的な地域づくりを促進するための地域協議会の設立など、町民の皆様にご協力いただきながら、財政の健全化に努めてまいりました。

現在の三朝町の財政状況を判断する指標の一つに実質公債

費比率があり、平成24年度では13.1%であります。今後も、この数値に注視をして、事務事業の点検や効率化の検証、補助金や負担金の見直しを行いながら、財政の健全化に努めてまいりたい。私は、過疎債は有効に活用できる地方債と考えます。

今後も、少子高齢化、人口の減少などによる社会保障費の増加や多様化する町民のニーズに対応していくために、地方債の計画的な発行に努めることで、財政の健全性の維持に努めてまいりたい。

土曜授業

問 地域人材等の活用で子どもに多様な学習機会を

答 関係者の協力を得て開始できるよう検討を進める

山口

文部科学省の肝いりで始まった土曜授業が県内各所で取り組み、子ども達にこれまで以上に多様な教育環境、学習機会を提供するものと期待していたが、残念ながら本町では取組まれなかった。

土曜授業は、地域の豊富な人材活用で通常の授業では経験できない授業や体験は、子ども達の成長に多様な効果をもたらすものと期待される。土曜授業は開湯850年を機に学校で副読本による「ふる里学習」の受け皿として適切なものと思う。

また、土曜授業は多忙過ぎるスポーツ少年団活動の緩和にも有効と考える。土曜授業について教育委員会でどのような話し合いがなされ、教育長はどのように方向をとるつもりなのか伺う。

教育長

完全学校週5日制は、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育てることを基本理念として平成14年度から始まりました。本町でも小学校区ごとに「みささ土曜楽校」を開設し、希望者を対象にふる里の素晴らしさを知る学習や自然体験などの活動に取り組み、感性豊かでたくましい子どもの育成に大きく寄与したところである。

土曜日に練習や試合をしているスポーツ少年団は地域の取り組みに参加できない実情にあり、土曜授業はこのような状況の改善方法として有力なものとする。

土曜授業は、町教育委員会の

判断で開くことができるものであり、実施にあたってはこれまでの実績を十分考慮し、これまで以上に教育効果が上がることやその内容を工夫して保護者や関係機関、地域のみなさんの理解と協力を得ながら開始できるよう検討したい。

山口

前向きに取り組んでいただけると理解した。何時頃からやると想定しているのか聞きたい。

教育長

実は、正式な形ではないが、三朝中学校では1学期に試行的に土曜日に3時間の授業を計画している。2学期にも土曜日に学園祭の実施予定がある。

また、現在取り組んでいる「青空体験塾」についても、成果等も考慮しながら新年度どのように土曜授業に取り入れていくか教育委員会で議論し、検討したい。

山口

土曜授業の実施に当たって大変な部分はスポーツ少年団との関係である。

主に土日に練習や対外試合を設定しているスポーツ少年団の現状はかなり過密であり、このような状況を教育長はどのように見ているのか。

教育長

議員指摘のとおり、スポーツ少年団の活動が過密であることから規約を改正し、練習回数の抑制を通知したが、土曜授業を検討する



山口 博議員

.....
場合は関連も検討したい。

山口

土曜授業の実施に当たっては、教育委員会が主導的な立場をとりながら、東伯郡・倉吉市のスポーツ少年団の指導者を含めた関係者で調整する必要がある。

教育長

先に実施した倉吉市ではスポーツ少年団指導者に不満があり、限界と聞いている。他町・市と連携しながら両立できるよう協議していきたい。

山口

開湯850年を機にふる里に関する副読本作成して学習するふる里学習を正規の時間を使わないで土曜授業で取り組めば、平常授業時間に余裕ができると思うが。

教育長

ふる里学習は県教育委員会の例示しているものでもあり、地域の協力等を検討し、土曜授業を組み立てたい。

山口

効果のある、やって良かったと言える土曜授業を来年度是非スタートできるよう検討されたい。

三徳山

問 三徳山及び町内寺院の保護・保全について

答 文化財的価値が認められれば
保全・保護を行う

藤井

三徳山は、今から1300年前に役行者が開山された修験道のお寺であり、投入堂は平安後期に建設された国宝である。文殊堂、地藏堂など、国の指定文化財が15ある。

昭和9年7月7日に、三徳山が史跡名勝地に指定されたが、2年前の火災で正善院が焼失しました。今後における三徳山の保全・保護活動について、町長の考えを伺いたい。

また、町内には三徳山と同じように宗教法人のお寺があるが、三徳山のみ保全・保護し、他の宗教法人のお寺は保全・保護しないということだが、町長はどう考えておられるのか。

町長

三徳山は、名勝と史跡が重複して指定されており、同様の指定は全国的に8つしかない。三朝町にとって貴重な財産である。今後も、三徳山地域保存管理計画、環境整備基本計画に基づいて、保護、保全を行っていく。

三徳山以外の寺院の保全・保護については、町の文化財保護調査委員会において寺院や集落の神社の調査を実施している。保護、保全すべき価値があると

確認されたものについては、教育委員会において、保護文化財指定がなされ、文化財的価値が明らかになった時点で、積極的な保護、保全を行うべきであると考えている。

社会教育課長

現在、町内寺院、神社の調査を随時実施しており、新たに町の文化財として指定してきているものもある。

藤井

正善院復興の基本計画案が出されていないが、なぜ議会に提出されないのか。

社会教育課長

正善院さんが独自に考えられた独自の計画であり、今週教育委員会に届いている。それに基づいて、文化庁、鳥取県あるいは三朝町が今後検討していく。

藤井

正善院より提出された復元整備事業費は、約3億3,868万、国は約1億8,015万、県は約9,000万、町は約2,200万である。町が助成した場合、三徳山入山料の何割か、町に収めてもらうようなことは考えられないのか。



藤井克孝議員

町長

誤解を受けるということになるので答弁は控えたい。

藤井

三朝町の他の寺も町内の財産として守っていくべきだと考える。今後も協議していきたい。

学校教育

問 学校週6日制（土曜授業）の実施を
考えてはどうか？

答 （教育長）教育委員会の中で協議を
しながら、進めていきたい。

清水

三朝町にあっては学校週5日制
が子ども達にとって有効な制度に
なっているのかどうか。

教育長

みささ土曜楽校の開設などによ
り、従来にも増して地域の皆さん
と子ども達の関わりが深まり、地
域の子どもは地域で育てるとい
う意識がさらに高まったと評価し
ている。

清水

全国的な「土曜授業」の流れ
をどのように受け止めているか。

教育長

全国的には、土曜日を有意義に
過ごしていない子どもがいるとい
う指摘があり、これを解決する為
に教育委員会が必要と認めれば、
「土曜授業」の実施が可能となっ
ている。本町では、さらに検討を
重ねていき進めていきたい。

清水

学力の向上に向けて、中学校の
クラス編成を学力に応じたクラス
分けにし、学力に即したきめ細か
い指導ができる体制にすべきと考
えるがどうか。

教育長

教科を学力別にすることは、教
員数の問題、生徒のモチベーショ
ンの維持という観点から困難。少
人数グループ学習などの実施でき
め細かい教育指導に努めたい。

清水

パソコンを使用した授業の現状
についての認識と昨年度の「学校
ICT 活用支援事業」の評価は。

教育長

導入や運用に当たって円滑に実
施出来たものと評価している。

清水

町教育委員会としては、ICT
導入による教育効果について、ど
のような認識を持っているか。

教育長

これまでの取り組みから授業に
おけるICT利活用の推進は、授
業の双方向性を高め、児童生徒
の主体性や知識、理解を高める
効果があると考えており、今後も
ICTを活用したハードやソフト



清水成眞議員

.....
の整備を進めていきたい。

清水

ICT教育の導入を、教育委員
会として早く進めていただきたい。

教育長

今後視察などをし、県の助成
制度などがあればそういうものも
活用し進めてまいりたい。

認知症対策

問 働いた分、自分に返ってくるような
制度を考えては？

答 是非、検討したい。

清水

三朝町の取り組みの現状とそれ
についての評価は。

町長

「100歳元気な町づくり」をキ
ーワードに掲げ、介護予防、認知
症予防にむけた取り組みを地域包
括支援センターが中心となって、取
り組んでいる。

清水

さらなる予防対策強化のため、
「元気な高齢者」も増加してきて
おり、その豊かな知識と経験を活
かした能力を発揮してもらうこと
ができる活動を推進することを提
言するが、このことについての見
解は。

町長

大切なことだと考えている。現

在集計中の日常生活圏域ニーズ
調査の中で活動の場を分析しど
のような体制が出来るのか検討し
てまいりたい。

清水

「高齢者ボランティアポイント
制度」を提言したい。町が行う事
業で高齢者でも出来る事業を選
別し活動してもらおうとポイント
がたまる。または、近くの独居老
人の方や高齢者のところに行き、
掃除、食事作りなどをすると、そ
れが、自分が高齢者になった時に
してもらえる。など、いろいろと考
えられるがどうか。

町長

どこかの町で、やっていたと記
憶している。是非検討したい。

学童保育

問 学童クラブの在り方を抜本的に見直しが必要

答 全体的、抜本的に見直しをしたい

中信

今、人口減少の歯止めとして、女性の働く環境の整備の中で子育て環境整備充実が言われている。鳥取県は子育て王国と位置づけ、子育ての環境を充実していこうとしている。吉田町長も子育てするなら三朝町でと公言している。

三朝町の学童クラブは各校区ごとでやっており、東小校区は三徳地域協議会が三徳センターで通常18名前後、南小校区は竹田地域協議会が竹田地区公民館で通常22名前後を受け入れ、両学童クラブとも環境のいい所である。

西小校区は町直営で、西小寄宿舎を使用して60人前後が通っているが、定員40人を大きくオーバーし、一つの大部屋に多くの児童がひしめき合い、とても児童が安心安全に過ごせる環境では無く、また建物も古く、耐震改修もしていない。

利用料金については、三朝町は開設以来、利用料金の変更がなく、中部地区で一番高い利用料金となっている。

将来の小学校統合を見据えて、学童保育のあり方を抜本的に見直すことが必要と思うが、町長はこの現状をどうお考えなのか伺う。

町長

本町では他の市町に先駆け、小6年生まで受け入れを拡大し

ている。国が放課後学童クラブのガイドラインの見直しを検討するので、この機会に町も学童クラブのあり方について抜本的に見直し、教育委員会等としっかりと話をしていきたい。また西小学童クラブへ活動状況を確認するため訪問し、考える所が多々あると思った。

中信

耐震改修の計画はあるか。

町長

昭和56年の建築基準法以前の建物で、耐震改修は3階建てであれば当然必要な事だが、2階建てなので、強度的には今後調査が必要だ。

中信

現状では保護者、指導者、町の三者懇談の場が無いという事だが、相互理解のために必要と思うが。

町長

三者懇談の場は必要と考える。担当課でしっかり計画を立てるよう指示する。

中信

学童保育でも地域ボランティアの導入の検討は。

町長

町の子ども・子育て会議を16人メンバーで発足、今後の町の



中信貴美代議員

学童クラブの在り方等についても同然その中で計画を立案していくことになると思う。

子育て健康課長

現在、西小の学童クラブにおいて月1、2回将棋クラブがあり、好評である。

中信

学童クラブの安全対策・防災対策のマニュアルがあるか。指導員さんに周知徹底されているか。

町長

非常に不安な部分があり、きっちりしていくよう努めたい。

中信

現場の責任体制が明確で無い。また、苦情・相談の窓口の設置が必要と思うが。

町長

窓口は子育て健康課とする。

中信

利用料金見直しの検討は。

町長

学童クラブについては全体的、抜本的に見直したい。

総務教育常任委員会 視察報告書

日 時：平成26年7月2日(水)～4日(金)

場 所：三重県 菰野町・度会町

調査した議員：清水成眞・吉田道明・山田道治・
牧田武文・山口博・中信貴美代

調査報告

○いじめ不登校対策事業について（菰野町）

菰野町では、いじめ不登校対策として平成26年度に3つの配置事業をしている。

①「スクールカウンセラー」配置事業

高度に専門知識・経験を有する者1名を町費で任用し、小学校2校を担当

②「生徒指導推進協力員」配置事業

校内の生徒指導体制の確立充実を図る為に、1名を各中学校に配置

③「スクール相談ネットワーク」設置事業

情報共有と組織的対応が出来る体制を構築する為、スクールソーシャルワーカーを配置

*いじめ・不登校に対しての菰野町の充実した配置事業を聞いた時、三朝町もあらゆる面で議論しながら対応策の検討が必要と感じた。

○消防団員確保に向けた取り組みについて（菰野町）

・団員162名の内130名が被雇用者

・団員報酬7万円／年を支給

・各種別消防団の研究考察（①応急手当普及啓発分団 ②山岳救助支援分団 ③学生分団 ④女性分団 ⑤J P分団等）

○災害時の情報伝達について（菰野町）

・民放「FMよっかいち」を利用して定時放送。防災ラジオを全戸配置し、緊急放送に対応

・「CTV（ケーブルTV）」でL字型災害情報放送

*三朝町も災害情報伝達について、住民と行政がもっと考えていく必要があると感じた。

○全町一本化による小学校統合について（度会町）

・4つの小学校統合は平成18年から検討を開始し、平成20年4月から一校に統合

・中学校は30年前に統合し、当時の生徒が今保護者になり自身の経験から賛成が多かった。

・スクールバス8台を運行(町負担8,000万円・運行を三重交通に委託)

・統合にあたり校舎のリニューアルと校舎を増築

*小学校統合は度会町の

賛成意見を聞くと早くするべきと思った。又、統合については行政が具体案を示す方がスムーズに進むとのこと。



産業民生常任委員会 視察報告書

日 時：平成26年6月25日(水)～27日(金)

場 所：群馬県川場村 茨城県日立市 茨城県大洗町

調査した議員：藤井孝孝・石田恭二・福田茂樹・平井満博・
能見貞明・池田雅俊

調査報告

○道の駅の運営に関する事項（道の駅川場田園プラザ）

川場村は群馬県北部に位置し、米作を中心とする農山村で、昭和30年以降4千人（現在約3700人）を割るまでに減少。昭和56年、人口80万人の東京都世田谷区が村内に世田谷区民健康村を設置し、相互協力協定を締結した。

村づくりの基本路線である「農業＋観光」の集大成の事業として、平成5年に「株式会社 田園プラザ川場」（資本金9千万円村60%他9団体）を設立。施設整備費は31億円（国県30% 過疎債64% 村6%）。



第三セクターとして各種事業を展開。平成8年に道の駅として認可された。設立後15年間は赤字経営であったが、指定管理者制度になってから黒字に転換、今では毎年余剰金を村に入れる状況となっている。

本町でも「観光(温泉)＋農業」の取り組みをしているが中々思うようにならないのが現状で、大いに参考となる。指導者の理念を何十年もの歳月をかけて実現している。

○国民宿舎「鶴の岬」の運営に関する事項

「鶴の岬」は、茨城県日立市十王町の風光明媚な海岸線に位置し、開業は昭和46年5月（新館平成9年4月29日開業）、敷地面積は164,747㎡。鉄筋コンクリート8階建(延べ面積10,458㎡)、客室58室、定員204名。

県から（財）茨城県開発公社が指定を受け管理運営を行っている（茨城空港も管理運営）。全国の国民宿舎の中で、平成元年度からの宿泊定員利用率が第一位となっている。（総売上は約11億、リピーター率は3～4割、平成25年度宿泊人数63,707人）

今は営業利益が出ても、余剰金を県に出すことになっているので職員に還元出来ないのが悩み。施設改修などは年度で階ごとに行っている。

本町プランナーにおいても、取り入れ行えるものもあるが立地条件などが大きく異なり、特に競合施設が近くにない事と、大都市から気軽に来れる範囲であることが集客率を上げている。

○「ゆっくら健康館」の運営に関する事項

大洗町は本町と防災協定を結んでいて交流もある場所である。健康館は、日帰り天然温泉施設となっている。

温浴室（2畳2部屋）は、ドールストーンを敷き詰め石から発生するラドンを利用して、三朝温泉のホルミシス効果を体験できる施設。

今後も交流を深める中で、三朝温泉・鳥取県のPR活動を積極的に行いたい。

【議案に対する討論】

6月定例議会・議案第48号「平成26年度三朝町一般会計補正予算(第1号)」に対する討論は次のとおりです。

反対討論（平井議員）

今回の補正予算には、3月定例議会で否決したものと同じような案件が含まれており、これが含まれている補正予算そのものを認めることはできない。

賛成討論（清水議員）

提案された補正予算には住民生活に関与したものも多い。名勝及び史跡三徳山（正善院）整備事業補助金は、国、県も予算化しており、三朝町も公平な立場で予算に臨むべきだ。よって、本補正予算は可決すべき。

【議案に対する賛否】

議案番号	議員名（議席順）	石田	吉田	池田	能見	中信	山口	清水	藤井	福田	平井	牧田	山田	結果
町長提出議案名														
（5月臨時議会）														
43	専決処分の承認について（三朝町税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
44	専決処分の承認について（三朝町国民健康保険税条例の一部改正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
45	専決処分の承認について（平成25年度三朝町一般会計補正予算（第8号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
46	専決処分の承認について（平成25年度三朝町下水道事業特別会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
47	工事請負契約の締結についての議決の一部変更について（三朝町役場庁舎耐震改修及び建物改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
（6月定例議会）※下記議案第48号の反対討論・賛成討論は前頁に掲載しています。														
48	平成26年度三朝町一般会計補正予算（第1号）	○	○	●	●	○	○	○	●	●	●	●		否決
49	平成26年度三朝町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
50	平成26年度三朝町国民宿舎事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
51	三朝町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
52	三朝町ふるさと健康むらの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
53	三朝町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
54	三朝町国民宿舎事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
55	三朝温泉観光商工センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
（6月臨時議会）														
56	平成26年度三朝町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※山田道治議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
さらなる年金削減の中止を求める陳情	全日本年金者組合鳥取県本部・中部支部	趣旨採択	年金支給額だけでなく、今後持続可能な年金制度を考えるべき。
「介護・医療総合確保法案」の撤回を求める陳情	全日本年金者組合鳥取県本部・中部支部	趣旨採択	自治体への影響や介護保険サービス低下への懸念等陳情趣旨は理解できる。
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	地方自治体の担う役割が年々増加する中、それに見合う財源の確保は必要である。
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書の提出に関する陳情	倉吉市 平野宏幸	趣旨採択	陳情の趣旨は理解できる。
「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会	採択 意見書提出	法整備により、手話が音声言語と対等な言語であることを広めることが重要。
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	鳥取県労働組合総連合	不採択	地方においては、全国一律の最低賃金の引き上げは困難である。
「海外で戦争する国」にする集団的自衛権の行使容認に反対する意見書の提出を求める陳情	鳥取県憲法会議	不採択	国民の生命財産を守ることは国家の使命であり、要件を明確にして、必要最小限の行使について容認すべき。
日本軍「慰安婦」問題への誠実な対応を求める陳情	新日本婦人の会鳥取県本部	趣旨採択	陳情の趣旨は理解できる。

【決議】 参議院選挙制度改革における選挙区の「合区」案に反対する決議を全会一致で可決しました。

おめでとう

ちよひつひやん

8月に入ると、一気にお盆のムードになる。この時期は、全国いろいろなところで「祭り」が盛んに開催される季節でもある。東北三大祭りの「ねぶた（青森県）」「竿燈（秋田県）」「仙台七夕祭（宮城県）」とあるが、特に「ラッセラー」「ラッセ、ラッセ」などの掛け声と共に、武者などをかたどった人形や武者絵のかかれた扇型の山車燈籠を引いて街を歩く「ねぶた」は有名である。七夕の変形したものといわれているが、それにしても観光客数は半端ない。三朝温泉開湯850年にあたるキューリー祭も、いろいろと趣向を凝らして、おもしろい企画が進行中ということである。是非、家族そろって出かけてみては、どうだろうか。

（清水成眞 記）

発行責任者
議長 山田 道治

編集
議会広報常任委員会

委員長 山口 博
副委員長 池田 雅俊
委員 福田 茂樹
委員 清水 成眞
委員 能見 貞明